

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 24 日 (2017.8.24)

【公表番号】特表 2016-527292 (P2016-527292A)

【公表日】平成 28 年 9 月 8 日 (2016.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2016-054

【出願番号】特願 2016-532347 (P2016-532347)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/97 (2017.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

A 6 1 K 36/185 (2006.01)

A 6 1 K 31/728 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/18 (2006.01)

A 6 1 P 17/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/97

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/34

A 6 1 Q 19/08

A 6 1 K 36/185

A 6 1 K 31/728

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/18

A 6 1 P 17/16

A 6 1 K 47/10

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 12 日 (2017.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- a) ホップエキスと、
 - b) ヒアルロン酸のエステルと、
 - c) $C_1 - C_4$ アルカノールと、
- を含む組成物。

【請求項 2】

前記ホップエキスは液体エキス、半固体エキスまたは固体エキスである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記液体エキスが、母液チンキ剤であることを特徴とする、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記液体エキスの量が、全組成物重量の 0.1 ~ 15 %、好ましくは 0.2 ~ 5 %であることを特徴とする、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記量が 0.5 ~ 2.5 %であることを特徴とする、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記ヒアルロン酸のエステルが、アスコルビルヒアルロネート、パルミトイルヒアルロネート、ベンジルヒアルロネート、ブチロイルヒアルロネートナトリウム、ブチロイル/フォルモイルヒアルロネートナトリウムから選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記ヒアルロン酸のエステルが、ブチロイルヒアルロネートナトリウムであることを特徴とする、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記ヒアルロン酸のエステルの量が、全組成物重量の 0.01 ~ 5 %、好ましくは 0.025 ~ 4 %であることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記量が、0.04 ~ 2.0 %であることを特徴とする、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記 C₁ - C₄ アルカノールがエタノールである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記 C₁ - C₄ アルカノールの量が、全組成物重量の 0.5 ~ 15 %、好ましくは 1 ~ 10 %であることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記量が 3 ~ 7 %であることを特徴とする、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

更に、以下の成分、すなわち、保湿剤 (moisturizing agent)、皮膚軟化剤、抗酸化剤、リポソーム・ビヒクルやビタミンといった浸透促進剤、湿潤剤 (humectant)、レオロジー添加剤、乳化剤、皮膚軟化剤、保存料；天然、合成または半合成のポリマーまたはコポリマー、シリコーン誘導体、組織化効果及び軟焦点効果を有する粉末及び充填材、の 1 種または 2 種以上を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記湿潤剤がポリプロピレングリコールであり、1 % ~ 50 %、より好ましくは 2 % ~ 30 %、最も好ましくは 5 % ~ 20 % の濃度 (w/w) で存在することを特徴とする、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記合成または半合成のポリマーがカーボマー (Carbomer) であり、0.1 % ~ 2 %、より好ましくは 0.25 % ~ 1.5 %、最も好ましくは 0.5 % ~ 1 % の濃度 (w/w) で存在することを特徴とする、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 16】

皮膚老化及び / 又は皺の処置及び予防における使用のための、請求項 1 ~ 15 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 17】

そのような処置の対象がヒトであることを特徴とする、請求項 16 に記載の組成物。